

編集後記

阿羅本 景

どうも、阿羅本です。

『晚月舎三冊目の同人誌』『晚月 卷之二』でございますが、皆様お楽しみ頂けましたでしょうか？

この同人誌の位置づけとしては、『夏コミ刊行の『晚月』のラインを継いで月姫全般のSS本としてのリリースを目指しましたが……この本を作りたくなかった動機は、二つあります。

一つは、やはり月姫同人をやっているからには、最愛のキャラである琥珀さん本を出したかったことです。いままで琥珀さんが好きだとか愛しているとか毒ニンジンの入った杯を干して親指を上げてみせるぜ、とか公言しているにも関わらず、琥珀さんの本を手がけていなかったの、やはり琥珀さんで一冊やらないと沽券に関わる……と思っていたのです。

……いや、そこまで思いこみは強くなかったのですが、やはり琥珀さんを愛しているからには一遍やってみたかったですね(笑)。幸い手持ちの原稿に琥珀さんがあったので、琥珀づくしで作り上げてみました。

なので、今回はアルクエイドもシエル先輩も無しです……残念、また明日(笑)

それともう一つの理由は……『裏秋葉祭』の後遺症です(笑)。

Web企画『裏秋葉祭』を全部纏めて出す！という壮大な計画であった同名の同誌ですが、その企画の規模故に壮絶な分量が集まり、結局はオフセットカラー表紙268pという努級の同人誌になってしまいました……その編集のおそろしい作業の中で、「くそうっ、ページの四〇頁ぐらいの同人誌が作りたい！」と阿羅本は叫んでいたのです。

なにしろ、編集しても編集してもページがある、版下のプリントアウトが莫大、おまけに印刷コストも軽く軽自動車を買えてしまうという……でも、その代わり非常に好評を得た本でもあり、満足感も合ったのですがその中に「小さい同人誌を作りたい」という密かな欲望が宿っていたのでした(笑)

で、その二つの動機が化学反応を起こして『晚月 卷之二』の刊行に繋がったのです。

書き下ろしSS三本と、再録関係の本と違って管理の作業になりましたが、私自身は非常に満足して作れた本になります。皆様も、お楽しみ頂ければ幸いです。

§

§

私が琥珀さんのどの辺に魅力を感じているのか……という、やはりあの、翡翠シナリオで見せる哀しさですね。やはり漢としては、琥珀さんにああいうふうに言われたとすればぎゅーっと抱きしめて上げないといけない、という心境を共有して頂ける物だと思います。だからこそ、琥珀さんエンディングでの向日葵の笑顔を見ると、その辛かった日々が報いられた嬉しさがココロに染みる物があります。

というか……こう、マキキュー殺しても良いですか？(と(笑))

やはりろりペドはいけません、八歳の子供をやってしまうと言うのはオニであり、琥珀さんのために何度涙を流したことか……こう、琥珀さんを好きになっただけは合意無きろりいには手を出すまい、と心に誓っていたりもします。

あと、琥珀さんの責めと受けのひっくり返った態度もステキですね……ええ、もう、「あは、出しちゃえ」の一言に何度激情を滾らせたことでしょうか(笑)。その後の「困ります、私、そんなのしたことがない……」も……あーもう、可愛いなあ琥珀

さんはっ！

「であるゆえに『歌月十夜』の「タナトスの夜」はもう、啼きましたね、ええ、私の泣き声は遠く筑波の山並みにも聞こえたと言われるほどに……こう、翡翠琥珀3Pという夢を実現させてくれてありがとう有り難うアリガトウ!と……」

……神様ってこの世にいるんやねえ……と(笑)

と言うわけで、こう、私の心に琥珀さんが染み込んでいまして……和服割烹着の琥珀さんと一緒に住むためなら、秋葉を倒して……あー、倒しちゃダメか(笑)

§

§

今回も美しい挿し絵を頂きました、福外鬼内さん、slouissさん、第七雑用部隊さん、イラストページをいただきましたabeeさん、Seikenさん、それに『裏秋葉祭』に続いて表紙のデザインをしていただきました草凧 栄輝さんには感謝いたしております。絵師の皆様のご協力無くしてはこの本は成り立ちませんでしたので……まことに有り難うございます。

HPで応援してくれる方、この本を手を取っていただいた方、そしてお読みいただいている皆様にも御礼を申し上げます。今回の同人誌も、お楽しみ頂ければ幸いです。

それでは、次の月姫イベントでお会いいたしましょう。
でわでわ!!

二〇〇一／十二／四 阿羅本 拝

『睨月舎』公式HPのご案内



<http://moongazer.f-o-r.net>

『月姫』(TYPE-MOON)のSS中心に活動いたしておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

SSもいろいろありますので、どうかよろしく願います。

『裏秋葉祭』『裏シエル祭』などもやっておりますので、是非是非～